

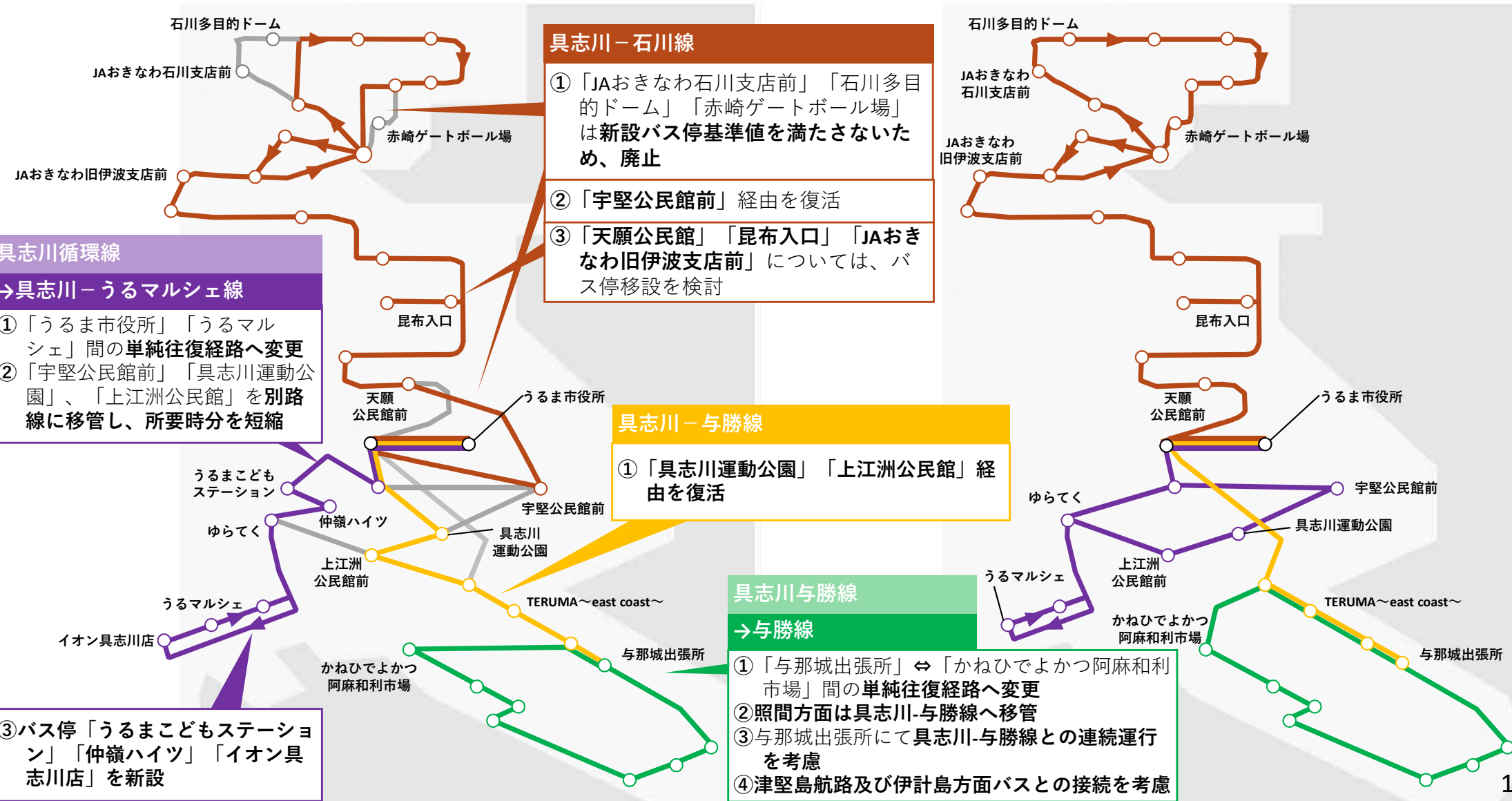
公共施設間連絡バス 実証実験 利用状況(モニタリング、利用者アンケート調査)

1 公共施設間連絡バス ルート再編の概要

- 2021年11月～2022年11月の実証運行で得られた課題や要望を基に、より利便性の高い移動手段とするため、2022年12月に運行内容の再編を行った。
- 実証運行の利用状況については、「モニタリング」と「乗り込みによる利用者アンケート調査」で分析を行った。

◆再編後ルート（2022年12月開始）

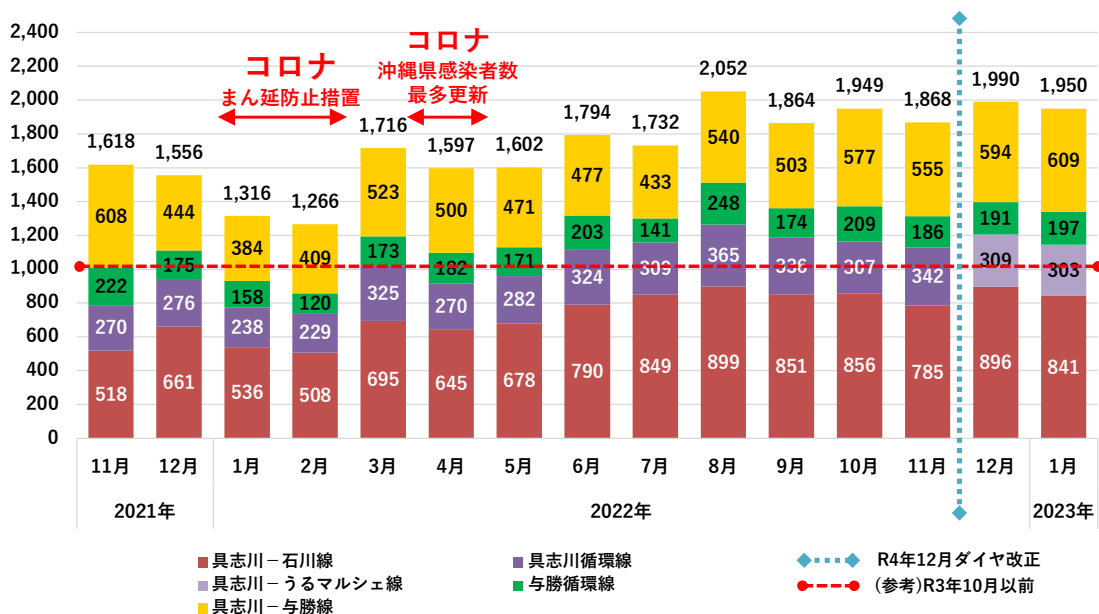
◆再編前ルート（2022年11月以前）



モニタリング結果（利用状況及び評価基準の達成状況）

- バス停ごとに、運転士が乗降者数を記録（専用スマートフォンアプリ活用）
- 実証実験開始後13か月間（2021年11月～2023年1月）の利用者数は、いずれの月でも実証実験前（令和3年度10月まで）の利用者数より多く、2023年1月の利用者数は実証実験前の利用の67%増となっている
- バス停利用者数評価基準値は、新設23バス停中15バス停で達成（2022年11月時点から3バス停増）
- 利用者数評価基準値（キロ当たりの利用者数）は、石川方面・与勝方面共に達成している

◆全路線の利用者数



◆方面別利用者数の評価【13か月間】

	現状値	基準値
石川方面	0.168人/km	0.104人/km以上
与勝方面 ※具志川循環線/与勝循環線含む	0.156人/km	0.145人/km以上

◆新設バス停の1日あたり乗降者数の評価

【13か月間(2021年11月～2023年1月)】

(基準値：1日あたり平均利用者数 1.3人)

・ 具志川-石川線

サンエー石川シティ	11.0
サンエー赤崎店	3.2
JAおきなわ旧伊波支店前	2.9
石川城前郵便局前	2.6
わかば通り	2.5
東山ふれあい公園	2.4
東山公民館入口	1.1
昆布入口	0.9
東山駐車場前	0.7
天願西	0.6
美原公民館入口	0.6

・ 与勝循環線/具志川-与勝線

JAおきなわ与那城支店前	9.0
かねひでよかつ阿麻和利市場	2.1
平敷屋公民館前	1.9
内間公民館前	1.8
TERUMA～east coast～	0.6
ザ・ビッグ田場店	0.5

・ 具志川-うるマルシェ線（（旧）具志川循環線）

ザ・ビッグ田場店	3.5
うるマルシェ	2.6
かねひでABLOうるま	1.0
ゆらてく	0.7

◆2022年12月 新設バス停※2

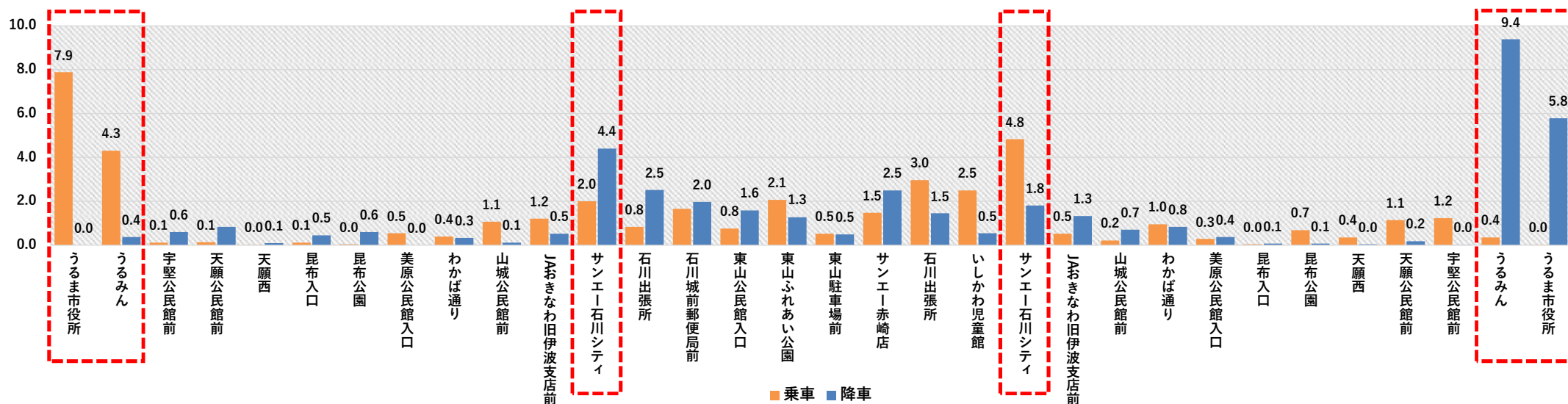
イオン具志川店	5.2
うるまこどもステーション	2.3
仲嶺ハイツ	1.9

※2：2か月間(2022年12月～2023年1月)で計算 2

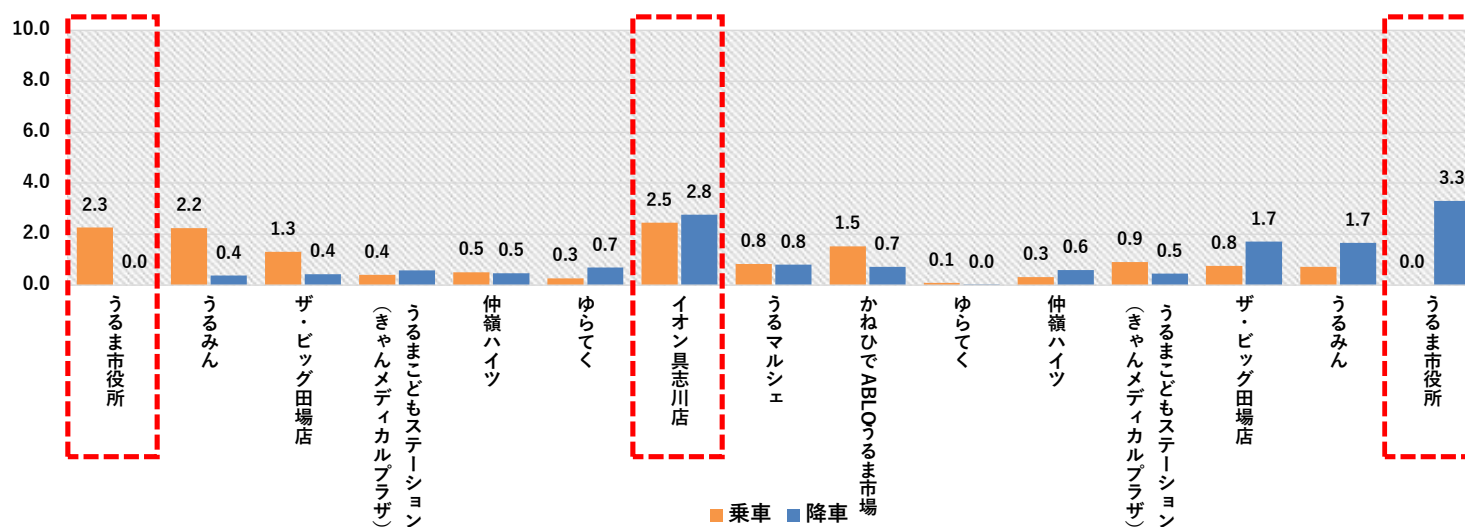
モニタリング結果（バス停別利用状況①）

- 具志川－石川線では、「うるま市役所」「うるみん」の利用が特に多く、次いで「サンエー石川シティ」の利用が多い。「宇堅公民館前～わかば通り」の区間での利用は少数となっている。
- 具志川－うるマルシェ線では、「うるま市役所」の利用が最も多く、次いで新設バス停の「イオン具志川店」の利用が多い

◆バス停別利用者数（具志川－石川線）



◆バス停別利用者数（具志川－うるマルシェ線）

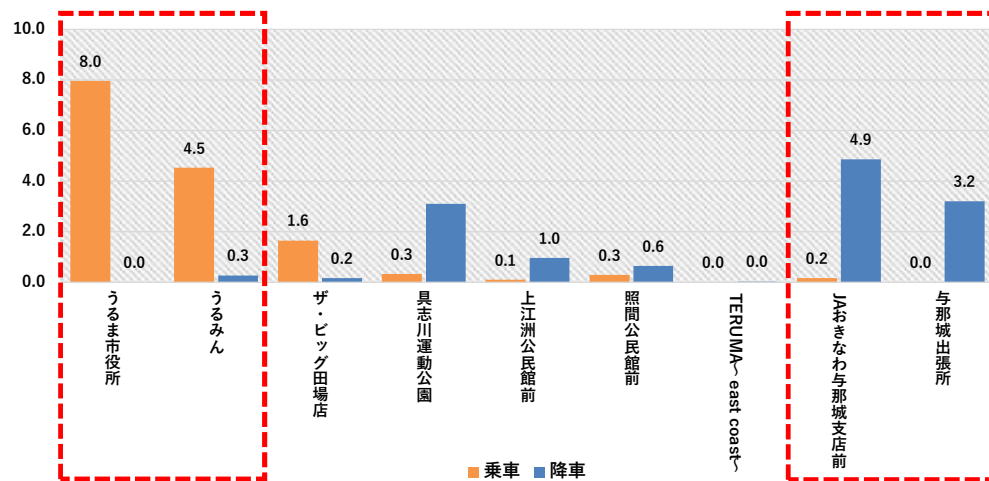


モニタリング結果（バス停別利用状況②）

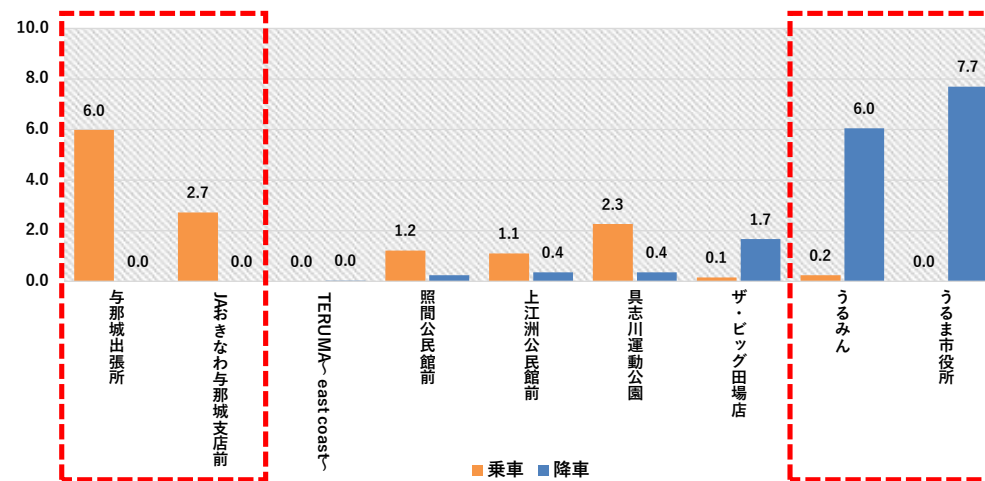
- 具志川－与勝線では、具志川地区の「うるま市役所」「うるみん」と、与勝地区の「与那城出張所」「JAおきなわ与那城支店前」での利用が特に多い
- 与勝循環線は利用者が少数であり、「平敷屋港旅客待合所」「平敷屋公民館」「与那城出張所」以外のバス停の利用は1人/日未満となっている

◆バス停別利用者数（具志川－与勝線）

(i) 与那城出張所方面

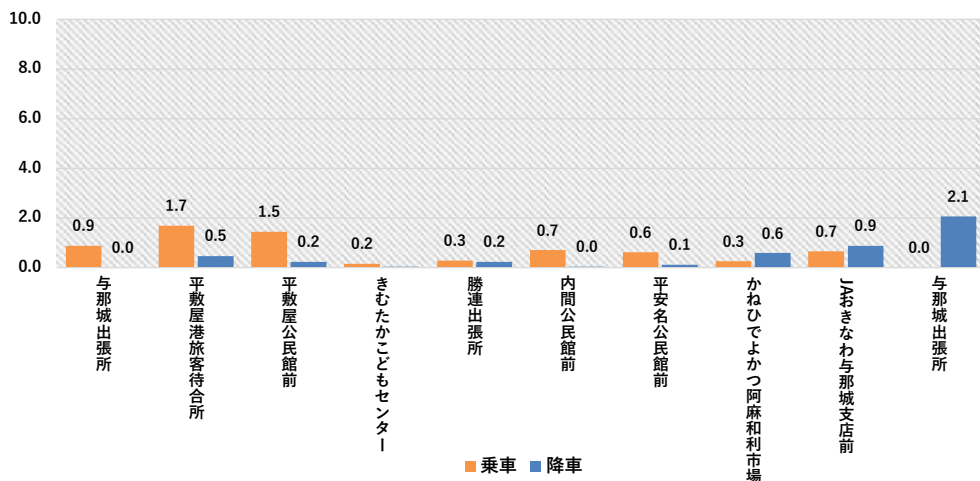


(ii) うるま市役所方面

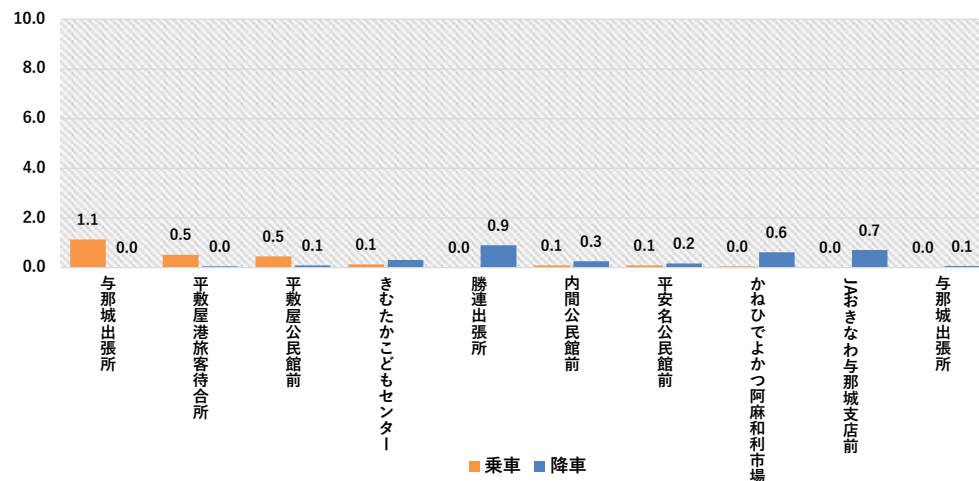


◆バス停別利用者数（与勝循環線）

(i) 時計回り



(ii) 反時計回り



①乗り込み調査の概要

- 利用者の属性や利用実態、既往の公共施設間連絡バス運行内容との利便性比較、有償化を見据えた価格感度等を把握するため、全便乗込みによる聞き取り調査を行った

◆調査概要

	1回目	2回目
調査日	令和4年12月15日(木)	令和5年1月12日(木)
調査対象	実証運行便 全便	実証運行便 全便
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の属性（性別・年齢等） ・ 利用区間（乗車バス停、降車バス停） ・ 利用状況（移動の目的、利用頻度、自宅からの最寄バス停） ・ 実証運行に関する意見 ・ 許容できる運賃額 	
調査方法	調査員による個別聞き取りアンケート	
調査総数	N = 133	N = 105

◆調査票

うるま市 公共施設間連絡バス実証実験 アンケート調査票

うるま市 都市政策課

うるま市にて運行している公共施設間連絡バスの実証実験について、ご意見を伺っています。お急ぎの所お手数をお掛けして申し訳ございませんが、ご協力のほどよろしくお願い致します。

質問1 バスを利用される区間
「乗車したバス停」と「降車予定のバス停」についてお答えください。

乗車バス停	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	
降車バス停																																									
バス停名	うるま市役所	うるま市市民センター	うるま市立図書館	うるま市立市民会館	うるま市立市民センター	うるま市立市民センター	うるま市立市民センター	うるま市立市民センター	うるま市立市民センター	うるま市立市民センター	うるま市立市民センター	うるま市立市民センター	うるま市立市民センター	うるま市立市民センター	うるま市立市民センター	うるま市立市民センター	うるま市立市民センター	うるま市立市民センター	うるま市立市民センター	うるま市立市民センター	うるま市立市民センター	うるま市立市民センター	うるま市立市民センター	うるま市立市民センター	うるま市立市民センター	うるま市立市民センター	うるま市立市民センター	うるま市立市民センター	うるま市立市民センター	うるま市立市民センター	うるま市立市民センター	うるま市立市民センター	うるま市立市民センター	うるま市立市民センター	うるま市立市民センター	うるま市立市民センター	うるま市立市民センター	うるま市立市民センター	うるま市立市民センター		

以下、質問の該当する番号に○をつけてください。(本日に回答された場合は再度のご回答は不要です)

質問2 移動の目的「どのような目的で公共施設間連絡バスを利用されていますか？」(おひとつ)
1. 買い物 2. 通院 3. 公共施設の利用 4. 通勤 5. その他

目的施設名 (例: ●●地区にあるスーパー●●△△店)

質問3 バス停までの距離「ご自宅からバス停までの距離」(おひとつ)
バス停名 ()
①ご自宅⇄最寄りの公共施設間連絡バス 1. 徒歩3分以内 2. 徒歩5分以内 3. 徒歩10分以内
②ご自宅⇄最寄りの路線バス 4. 徒歩10分以上 5. 徒歩では行かない 6. その他 ()

質問4 利用頻度(以前)「令和4年12月より前(ダイヤ改正前)は公共施設間連絡バスをどの程度利用されていましたか？」(おひとつ)
1. 週に5日 2. 週に3~4日 3. 週に1~2日 4. 月に1~2日 5. 利用したことが(ほぼ)無い

質問5 利用頻度(現在)「令和4年12月以降は公共施設間連絡バスをどの程度利用されていますか？」(おひとつ)
1. 週に5日 2. 週に3~4日 3. 週に1~2日 4. 月に1~2日 5. 今日が初めて

質問6 利用頻度が変わった方のみ「利用頻度が変わった理由を教えてください。」(おひとつ)
1. 家の近くにバスが停まるようになったから 2. ルートが変わって使いやすくなったから
3. 減便されたから 4. ルートが変わって使いづらくなったから 5. 理由は特に無い

質問7 ご意見「実証運行に関する意見を教えてください。」(おひとつでも)
①バス停 1. 今までより便利になった 2. 今までと変わらない 3. 不便になった 4. 分からない
②ルート 1. 今までより便利になった 2. 今までと変わらない 3. 不便になった 4. 分からない
③便数 1. 今までより便利になった 2. 今までと変わらない 3. 不便になった 4. 分からない
④その他 ()

質問8 運賃について「このバスに運賃を支払う場合、許容できる片道運賃はいくらですか？」(おひとつ)
①市内移動(例: 当館地区内) 1. 100円 2. 150円 3. 200円 4. 250円 5. 300円
②市外移動(例: 具志川~石川町) 6. 350円 7. 400円 8. 500円 9. その他 () 円

質問9 仮に本実証運行が無かった場合、どうされるおつもりですか？(おひとつ)
1. 外出していきません 2. 家族に送迎を依頼していた 3. 自分で運転していた
4. 路線バスを使っていた → 系統番号 ()
5. タクシーを使っていた 6. 分からない

質問10 乗り継ぎ「このバスと組み合わせ利用する交通手段は何ですか？」(おひとつ)
①バスに乗る直前の移動手段 1. 徒歩のみ 2. 路線バス 3. タクシー
4. 伊計屋産名線バス 5. 家族の送迎 6. その他 ()
②バスを降りた直後の移動手段 1. 徒歩のみ 2. 路線バス 3. タクシー
4. 伊計屋産名線バス 5. 家族の送迎 6. その他 ()

質問11 お乗り(または行き)に利用する予定(利用した)交通手段は何ですか？(おひとつ)
1. 公共施設間連絡バス 2. 路線バス 3. タクシー 4. 家族の送迎 5. その他 ()

質問12 あなたのことについてご回答ください
①性別 1. 男性 2. 女性
②年齢 1. 小学生未満 2. 小学生 3. 中学生 4. 高校生(15~18歳) 5. 大学生・専門学校生(19~22歳)
6. 23歳~29歳 7. 30歳~49歳 8. 50歳~64歳 9. 65歳~74歳 10. 75歳~
③職業 1. 小学生 2. 中学生 3. 高校生 4. 大学・専門学校生
5. 会社員・公務員 6. パート・アルバイト 7. 自営業・家事手伝い
8. 主婦・主夫 9. 無職 10. その他

③自動車運転免許の有無 1. 免許あり(運転する) 2. 免許あり(運転しない) 3. 免許なし 4. 免許なし(自主返納済)

ご協力ありがとうございました。

調査員による個別聞き取りアンケート

調査日 令和 5年 1月 12日 調査員氏名

乗車時間 □ 8:30発 □ 9:51発 □ 11:14発 □ 13:25発 □ 14:46発 □

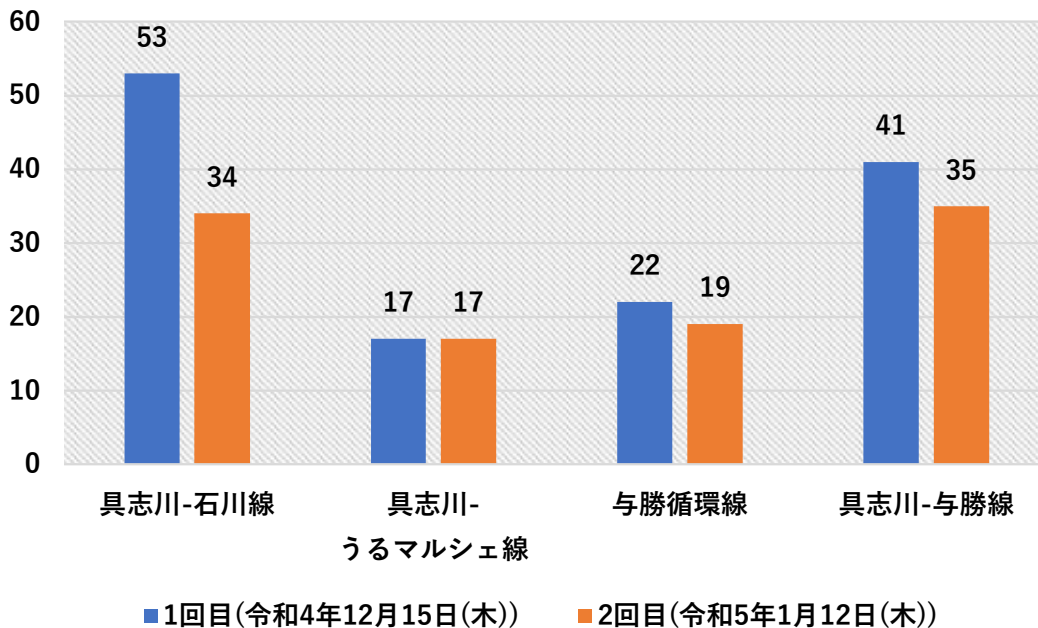
系統コード B011 乗車 具志川~石川町線

系統・種別 - 乗車バス停 うるま市役所

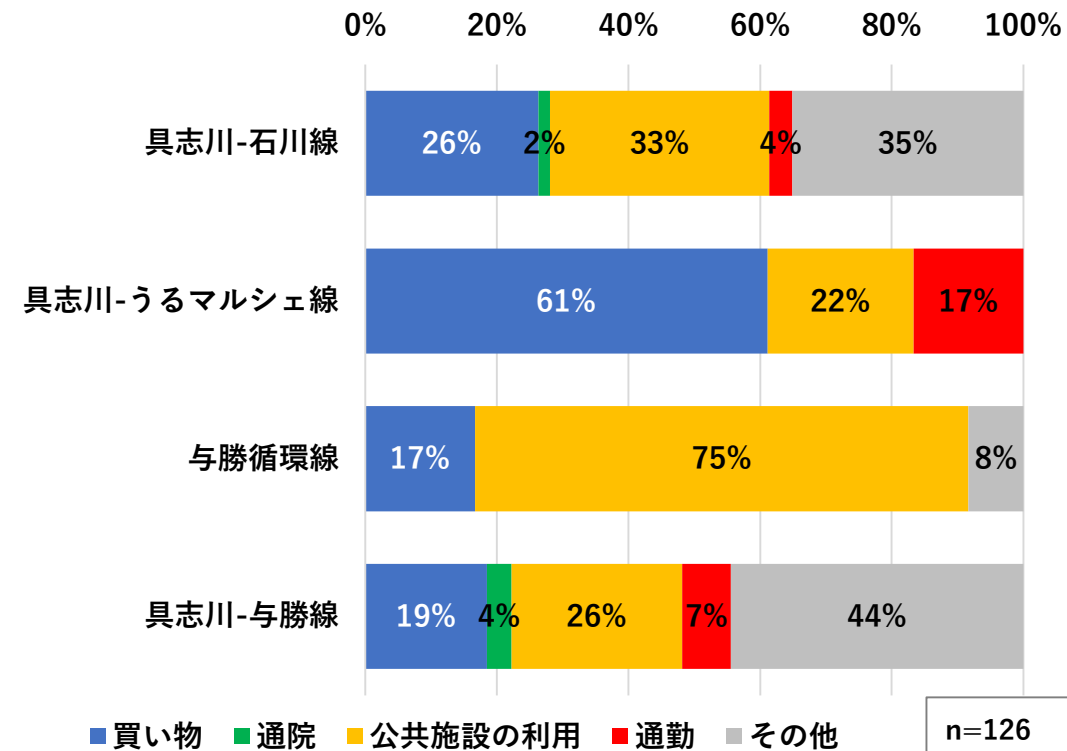
②調査日の利用者数

- 路線別の利用者数では、具志川－石川線および具志川－与勝線が特に多い
- 路線別の利用目的を見ると、「買い物」「通勤」目的の利用は具志川－うるマルシェ線で割合が高く、「公共施設の利用」目的は与勝循環線で特に高い割合を示している。「通院」目的の利用は少数である。

◆利用者数



◆路線別利用目的



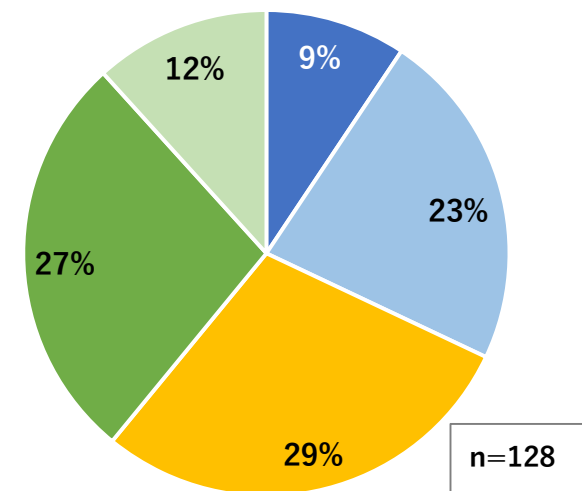
※1回目調査及び2回目調査の合算値

③利用頻度の変化

- 利用者の利用頻度を、実証運行以前と現在で比較した場合、「月に1～2日」の利用者が減少（27%→20%）し、「週に1～2日」の利用者が増加（29%→40%）している
- 利用頻度が変わった理由については、「ルートが変わって使いやすくなったから」が最も多く、ルートの再編が一定の効果を上げていることが分かる

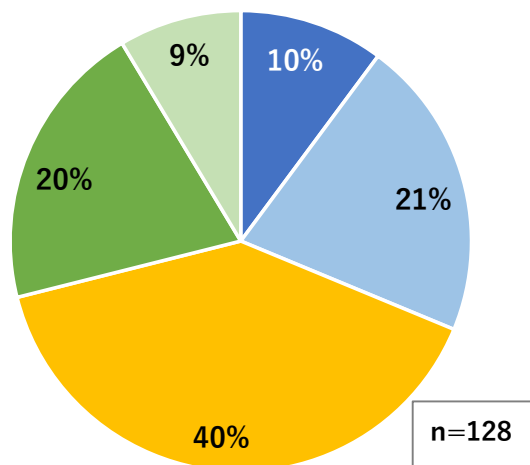
◆利用頻度の変化

(i) 利用頻度（以前）



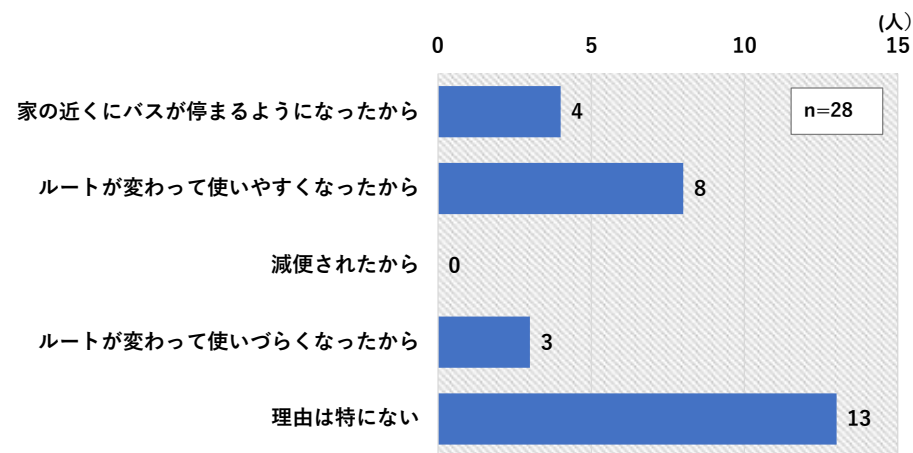
- 週に5日
- 週に1~2日
- 利用したことが(ほぼ)無い
- 週に3~4日
- 月に1~2日

(ii) 利用頻度（現在）



- 週に5日
- 週に1~2日
- 今日が初めて
- 週に3~4日
- 月に1~2日

(iii) 利用頻度が変わった理由



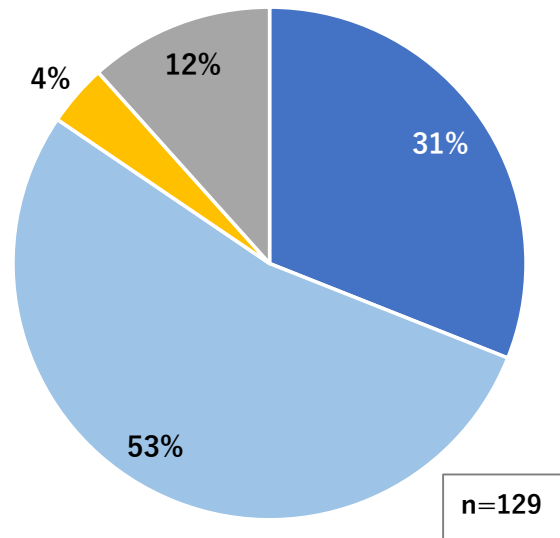
※1回目調査及び2回目調査の合算値

④運行内容についてのご意見

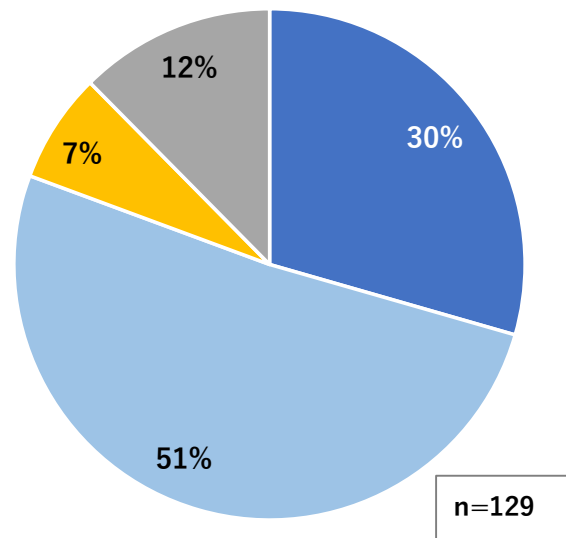
- いずれの運行内容についても、「今までと変わらない」との回答が50%前後と最も高い割合を占めている
- 次に、「今までより便利になった」との回答が30%前後を占めている
- 「不便になった」との回答の割合が最も高いのは便数・時刻に関する部分となった

◆運行内容についてのご意見

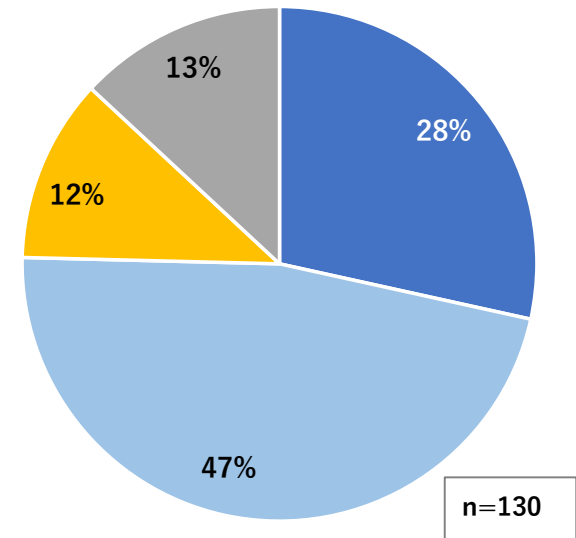
(i)バス停



(ii)ルート



(iii)便数・時刻



- 今までより便利になった
- 今までと変わらない
- 不便になった
- 分からない

※1回目調査及び2回目調査の合算値

④運行内容についてのご意見（自由記述）

◆利用頻度の変化

具志川－石川線

【バス停】

- ・坂道の上（以前）にバス停を戻してくれると助かる。（今は下にあるので、登らないと行けない）
- ・弁当屋（ありんこ）のほうにもバス停が欲しい

【ルート】

- ・既存と現行ルートを知らなかった。
- ・ルート変更について知らなかった

【便数】

- ・頻繁に廻ってきて欲しい。最終便が早い
- ・便数を増やしてほしい

【時刻】

- ・うるみにいれる時間が短い
- ・最終便が早い
- ・昼時間も運行して欲しい
- ・最終時刻が早い

【その他】

- ・時刻表を広報にして入れて配布した方が良い
- ・運転手への連絡システム

具志川循環線

【ルート】

- ・新ルートに慣れるまでが少し大変だった。

具志川－与勝線

【ルート】

- ・中央病院に回って欲しい
- ・医療品の所に回してほしい。与勝サンエーに回してほしい。
- ・なくさないでほしい。遠回りしないで欲しい。（停まらないのに）
- ・サンエーまで行ってほしい。本数を増やしてほしい。

【便数】

- ・便は減らさないでほしいし、お金はとらないで欲しい。住民の理解を得て、色々やって欲しい。全住民アンケートを取ってやって欲しい。全市民の会が役所に言うかも

【その他】

- ・できるだけ安くしてほしい
- ・朝の時間、人がいっぱいいる。乗れない人もいるらしい。

与勝循環線

【ルート】

- ・サンエーまで通してほしい
- ・遠回りしてる
- ・サンエーまで行ってほしい
- ・かねひでに寄るのがありがたい。
- ・サンエー前に止まって欲しい。

【便数】

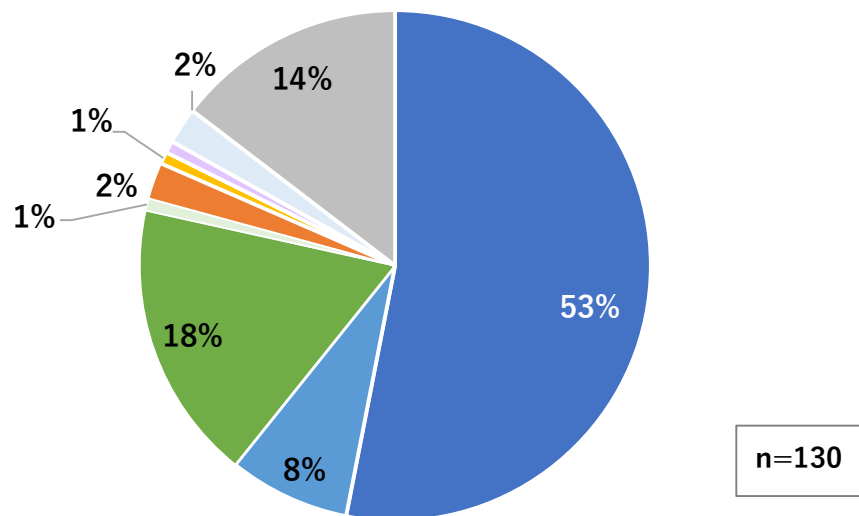
- ・本数を1,2本増やしてほしい。沖縄市みたいに路線バスのバス停に降ろしてほしい。

⑤許容できる片道運賃額

- 利用者が許容できる片道運賃額について、地域内移動の場合は、「100円」が約53%と最も高い割合を占めている
- 地域外移動の場合でも「100円」が約39%と最も高い割合を占めているが、地域内移動に比べ、「200円」との回答の割合が高くなっており、地域外への移動に対して一定の需要があると考えられる

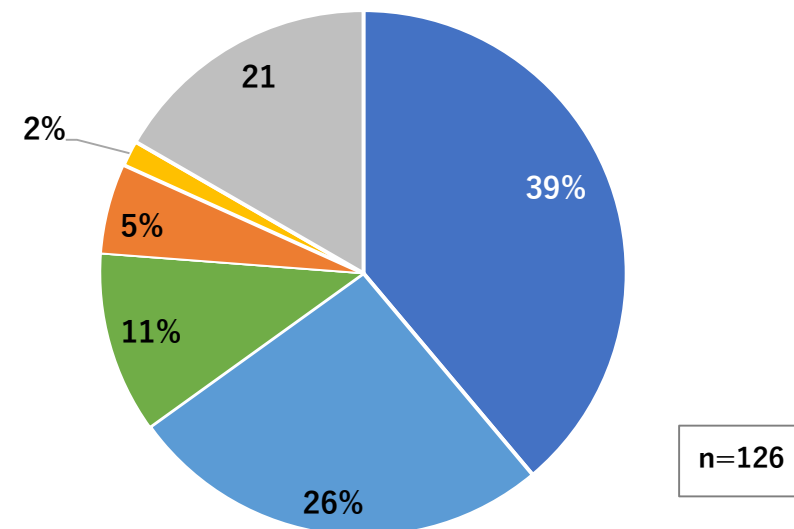
◆許容できる片道運賃額

(i) 地域内移動



■ 100円 ■ 150円 ■ 200円 ■ 250円 ■ 300円
 ■ 350円 ■ 400円 ■ 500円 ■ その他

(ii) 地域外移動



■ 100円 ■ 200円 ■ 300円 ■ 400円
 ■ 500円 ■ 600円 ■ その他

※1回目調査及び2回目調査の合算値

⑥エリア間移動状況

- 1日での結果のため、エリア間移動の人員は、各調査結果でバラつきがある。
- **1回目調査では、再編前の調査時より、全体的に移動が多い結果となった。**
- いずれの調査時においても、**具志川エリア内と与勝エリア内では一定の移動が見られ、与勝・具志川間での移動や石川から具志川への移動についても10人以上が移動している。**

◆エリア間移動状況

(参考)再編前 3回目調査時
(令和4年4月25日(月))

(i)1回目調査時
(令和4年12月15日(木))

(ii)2回目調査時
(令和4年12月15日(木))

